

**聖餐式** 2021. 3. 7 大齋節第 3 主日

特 禱 大齋節第 3 主日 特禱

旧約聖書 出エジプト記 20:1-17

日課詩篇 第 19 篇 7~14 節

使徒書 ローマの信徒への手紙 7:13-25

福音書 ヨハネによる福音書 2:13-22

## 大齋節第 3 主日特禱

全能の神よ、どうかあなたを呼び求める僕らの願いをみ心に留め、力あるみ手を差し伸べてすべての敵を防いでください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

### 旧約聖書 出エジプト記 20:1-17

神はこれらすべての言葉を告げられた。「わたしは主、あなたの神、あなたをエジプトの国、奴隷の家から導き出した神である。あなたには、わたしをおいてほかに神があってはならない。

あなたはいかなる像も造ってはならない。上は天にあり、下は地にあり、また地の下の水の中にある、いかなるものの形も造ってはならない。あなたはそれらに向かってひれ伏したり、それらに仕えたりしてはならない。わたしは主、あなたの神。わたしは熱情の神である。わたしを否む者には、父祖の罪を子孫に三代、四代までも問うが、わたしを愛し、わたしの戒めを守る者には、幾千代にも及ぶ慈しみを与える。

あなたの神、主の名をみだりに唱えてはならない。みだりにその名を唱える者を主は罰せずにはおかない。安息日を心に留め、これを聖別せよ。六日の間働いて、何であれあなたの仕事をし、七日目は、あなたの神、主の安息日であるから、いかなる仕事もしてはならない。あなたも、息子も、娘も、男女の奴隷も、家畜も、あなたの町の門の中に寄留する人々も同様である。六日の間に主は天と地と海とそこにあるすべてのものを造り、七日目に休まれたから、主は安息日を祝福して聖別されたのである。

あなたの父母を敬え。そうすればあなたは、あなたの神、主が与えられる土地に長く生きることができる。殺してはならない。

姦淫してはならない。

盗んではならない。

隣人に関して偽証してはならない。

隣人の家を欲してはならない。隣人の妻、男女の奴隷、牛、ろばなど隣人のものを一切欲してはならない。」

### 日課詩編 第 19 編

7 主の教えは完全で、魂を生き返らせ // 主の論しは変わらず、心に知恵を与える

- 8 主の定めは正しく、心を喜ばせ // 主のみ旨は清く、目を開く
- 9 主の言葉は混じりけなくとこしえに続き // 主の審きは真実ですべて正しい
- 10 金よりもどんな純金よりもすばらしく // 蜜よりも、蜂の巣のしたたりよりも甘い
- 11 あなたの僕はこれに教えられ // それを守って大きな報いを受ける
- 12 だれが自分の過ちを悟り得よう // 知らずに犯した過ちから清めてください
- 13 あなたの僕をおごりから引き離し、その支配に陥らぬようにしてください // わたしが汚れることなく、大きな過ちを避けることができますように
- 14 主よ、わたしの岩、わたしの贖い主 // わたしの言葉と思いがみ心にかないますように

## 使徒書 ローマの信徒への手紙 7:13-25

それでは、善いものがわたしにとって死をもたらすものとなったのだろうか。決してそうではない。実は、罪がその正体を現すために、善いものを通してわたしに死をもたらしたのです。このようにして、罪は限りなく邪悪なものであることが、掟を通して示されたのでした。わたしたちは、律法が霊的なものであると知っています。しかし、わたしは肉の人であり、罪に売り渡されています。わたしは、自分のしていることが分かりません。自分が望むことは実行せず、かえって憎んでいることをするからです。もし、望まないことを行っているとすれば、律法を善いものとして認めているわけになります。そして、そういうことを行っているのは、もはやわたしではなく、わたしの中に住んでいる罪なのです。わたしは、自分の内には、つまりわたしの肉には、善が住んでいないことを知っています。善をなそうという意志はありますが、それを実行できないからです。わたしは自分の望む善は行わず、望まない悪を行っている。もし、わたしが望まないことをしているとすれば、それを行っているのは、もはやわたしではなく、わたしの中に住んでいる罪なのです。それで、善をなそうと思う自分には、いつも悪が付きまとっているという法則に気づきます。「内なる人」としては神の律法を喜んでいますが、わたしの五体にはもう一つの法則があつて心の法則と戦い、わたしを、五体の内にある罪の法則のとりこにしているのが分かります。わたしはなんと惨めな人間なのでしょう。死に定められたこの体から、だれがわたしを救ってくれるでしょうか。わたしたちの主イエス・キリストを通して神に感謝いたします。このように、わたし自身は心では神の律法に仕えています、肉では罪の法則に仕えているのです。

## 福音書 ヨハネによる福音書 2:13-22

ユダヤ人の過越祭が近づいたので、イエスはエルサレムへ上って行かれた。そして、神殿の境内で牛や羊や鳩を売っている者たちと、座って両替をしている者たちを御覧になった。イエスは縄で鞭を作り、羊や牛をすべて境内から追い出し、両替人の金をまき散らし、その台を倒し、鳩を売る者たちに言われた。「このような物はここから運び出せ。わたしの父の家を商売の家としてはならない。」弟子たちは、「あなたの家を感じる熱意がわたしを食い尽くす」と書いてあるのを思い出した。ユダヤ人たちはイエスに、「あなたは、こ

んなことをするからには、どんなしるしをわたしたちに見せるつもりか」と言った。イエスは答えて言われた。「この神殿を壊してみよ。三日で建て直してみせる。」それでユダヤ人たちは、「この神殿は建てるのに四十六年もかかったのに、あなたは三日で建て直すのか」と言った。イエスの言われる神殿とは、御自分の体のことだったのである。イエスが死者の中から復活されたとき、弟子たちは、イエスがこう言われたのを思い出し、聖書とイエスの語られた言葉とを信じた。

## 代禱

- 新型コロナウイルス感染症に苦しむ人々のため、またその一日も早い収束のため
- 東日本大震災のすべての逝去者と被災者のため

<東京教区>

- 3月の信施奉獻先 いのちの電話の働きのため

<東京聖三一教会>

- 中ハイ・青年たちのため
- 聖歌隊・オーガニスト会のため
- 病床にある方々のため

## 聖歌

125, 127